



好学愛知
自律敬愛
質実剛健

信鳥

第3号 H17.6.25

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

<http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html>

7月の行事予定

7月	
1 金	
2 土	3年土曜悠学講座
3 日	
4 月	学年朝会 修学旅行・登山前健康診断
5 火	
6 水	
7 木	1・2年実力考査(1日目)
8 金	1・2年実力考査(2日目) (5,6,7限) 学校安全の日、中掃除
9 土	1・2年進研(記述) 3年進研(記述)
10 日	3年進研(記述)
11 月	全校朝会 学校保健委員会
12 火	
13 水	
14 木	修学
15 金	1年 登山 3年 遠足
16 土	
17 日	
18 月	海の日 1・2年土曜悠学講座
19 火	金曜日の授業⑤
20 水	学年集会 授業6限 LHR 中掃除
21 木	夏季悠 学講座
22 金	
23 土	
24 日	
25 月	
26 火	夏季
27 水	悠学 講座
28 木	中学生日帰り体験学習
29 金	中学生日帰り体験学習
30 土	トイレ掃除に学ぶ会
31 日	
・三者面談	

二六、五四四。生徒諸君、何を表す数字かわかるだろうか。何賢明な君たちならすぐに気づくと思うが、一中・一高女・鶴丸高校の卒業生の数である。さて六月は恒例の同窓会が各地区で開催され、特に東京、近畿、東海、福岡の大都市圏での同窓会には、多くの卒業生の方々が集まる。卓話、一分間スピーチ、ゲーム大会、ピアノ演奏と幹事の方々が一年も前から準備され趣向を凝らした同窓会が繰り広げられる。そのための時間と労力は並大抵のものではない。しかし、先輩方がその苦労も厭わず、献身的に準備に奔走されるには理由がある。それは、君たち在校生の活躍と今年卒業した後輩の参加をとても楽しみされているからだ。新しい卒業生は無料ご招待。先輩方の歓迎にぜめにあう。「同窓生」という響きはお互いの心を揺さぶり、確実に強い絆を作る。先輩方の母校や後輩への想像以上の思いが強さを是非皆さんに知つてほしい。今年創立百十一周年を迎へる。



県高校総体が終わり、今まで学業と部活動を両立させていた3年生が一部の部活動を除いて引退し、受験へと気持ちを切り替えている。陸上部の佐野浩基君(三二R)は「調整不足で結果は芳しくなかつたが完全燃焼できました。大学でも陸上を続けます。これからは自分の目標に向けて努力します。」と決意を新たにしている。

部活動を終えた3年生と部活動を皮切って気持ちは切り替えていく。この時期を逸するとしたら愚かしいと心得るべきである。

いよいよ受験一色へ

部活動を終えた3年生

県高校総体終わる

山岳部アベック優勝



主な大会成績(ベスト8相当以上)
山岳部 男女優勝 全国・九州大会出場
陸上部 男子走幅跳 優勝 栗田 全国・南九州大会出場

梅雨期の交通安全に注意

雨の多い時期になると、見通しが悪くなったり、スリップしたりして危険が増える。また、傘さし運転が目につく。事故だけがをしたり、家族や周囲の人々に迷惑をかけないよう心掛けよう。

将来の教師を目指して

五月一十二日から二週間、本校卒業生十八人が母校で教育実習を行った。教壇に立つのは初めてで、戸惑った様子も見受けられたが、最後は研究授業を立派に行い、本校の先生方がから多くのアドバイスをもらつていただいた。実習生の多くは教員採用試験突破をめざして、勉強に励むという。



教頭 坪内俊己

えた鶴丸高校同窓会総会は八月六日。キヤッチフレーズは「時の扉を開いて」共鳴する記憶明日への勇気」サブテーマは「一一(いい人と)」。(二十五日は東京鶴丸会同窓会総会残り五日で七月である。先輩方に

また、悠学館・大會議室や各学級で、下校時刻の午後六時三〇分まで残つて黙々と自習する姿が多く見受けられる。三年生は、来年三月の栄冠めざし、休日返上で猛勉強の日々を過ごしている。

水泳部 女子二百米自己最高記録(西村川井田)

男子走幅跳 五位(川井田)

男子百米 四位(川井田)

以上南九州大会出場